

# 事業概要シート

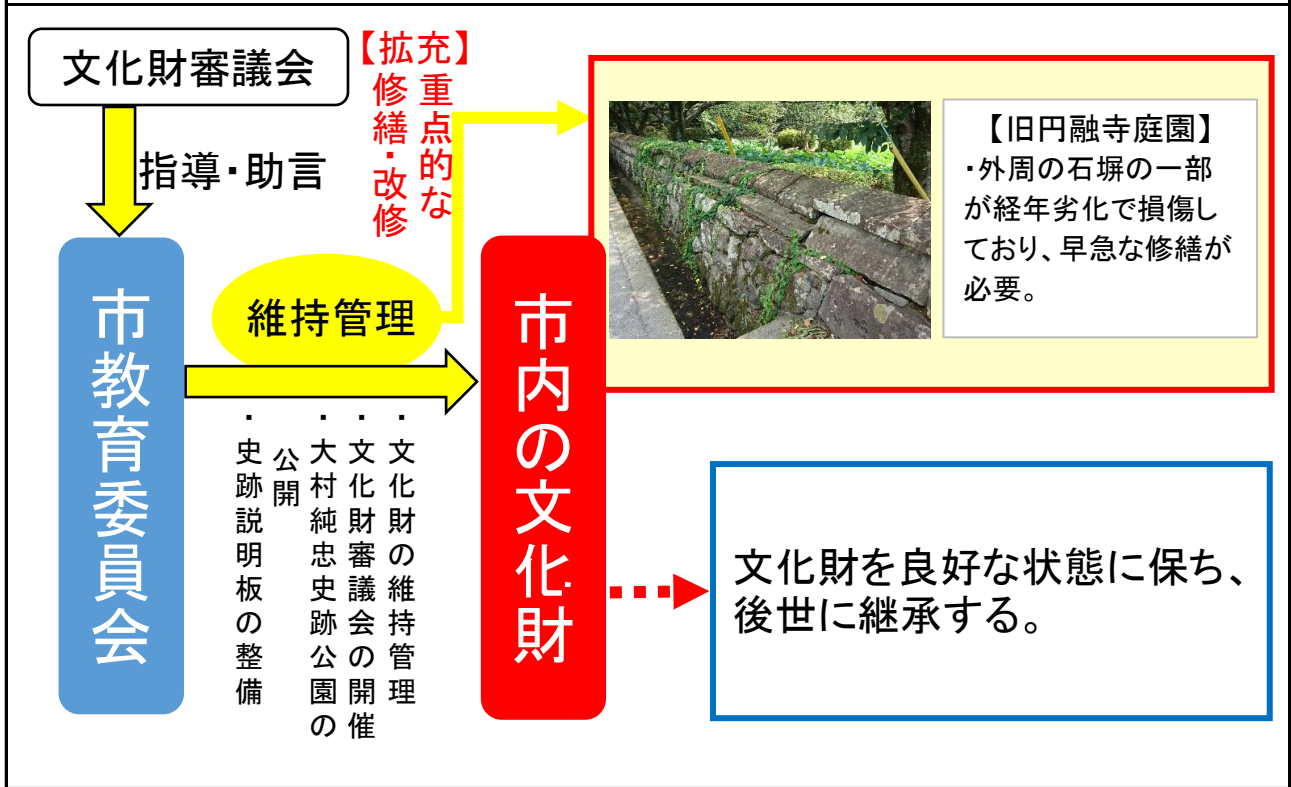
施策：文化財の保護・活用・継承

《 》は、29年度の当初予算

事業名：文化財管理事業	拡充	予算額	9,926 千円
			《 6,901 》
財源内訳		国庫支出金	1,750 千円
		県支出金	354 千円
		地方債	千円
		その他	340 千円
		一般財源	7,482 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

- 目的  
文化財の管理、保存、指定及び市民への公開。
- 概要  
文化財の荒廃を防ぐための維持管理。  
文化財保護のため、文化財審議会を開催し、指導・助言を仰ぐ。  
大村純忠史跡公園などの公開。  
史跡説明板の設置・改修。  
【拡充】文化財及び周辺設備のうち、重要箇所の重点的な修繕・改修を行う。  
(H30)旧円融寺庭園(国指定名勝)の石塀の一部が損傷しており、修繕を行う。  
(補助率)国1/2、県1/10
- 対象  
大村市の貴重な文化財を保護し、後世へ継承する。



## 【背景】

文化財及び周辺設備の修繕に関しては、年間予算の範囲内で適宜対応しているが、年度ごとの修繕料では対応できない大規模で必要性の高いものについて、重点的に修繕・改修を行う。

担当課	教育委員会 文化振興課	問合せ先	0957-53-4111 (内線 372)
-----	-------------	------	-----------------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	維持管理文化財数	目標値 件	18	12	12	12	12
②	文化財説明板設置及び改修数	目標値 基	0	1	1	1	1

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	国・県・市指定文化財数	目標値 件	48	50	50	50	50
②		目標値					

## 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	15,378	6,127	5,557	6,901	9,926	6,901	50,790
国庫支出金					1,750		1,750
県支出金	618			1	354	1	974
地方債							0
その他	196	531	371	357	340	340	2,135
一般財源	14,568	5,596	5,186	6,543	10,443	6,543	48,879
人件費	4,314	3,633	5,444	4,747	4,747	4,747	27,632
職員	0.49人	0.42人	0.65人	0.61人	0.61人	0.61人	3.39人
時間外勤務	28h	58h	81h	153h	153h	153h	626h
嘱託員	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	1.80人
フルコスト	19,692	9,760	11,001	11,648	14,673	11,648	78,422

妥当性 (市の関与)	文化財の保護は、市教委が所掌する業務である。 市が所有者・管理者となっている文化財は、市の責任において維持管理を行う必要がある。
有効性 (施策貢献度)	史跡の整備・維持管理は、市内の文化財を保護・活用するために必要な基礎的事業である。 史跡の維持管理を行うことにより、見学者や市外からの観光客などを迎えることができる。 史跡説明板を整備することにより、見学者に各々の史跡の基本情報を提供することができる。
効率性 (コスト)	史跡地の除草などの軽微な管理については、シルバー人材センターや地元町内会などをお願いするとともに、職員による除草作業も加えるなど経費の削減に努めており、これ以上の削減は困難である。

1次評価	文化財の保存のためには、保存修理が必要であり、拡充すべき。
2次評価	1次評価の意見のとおり